

(生ごみ水分)コップ一杯の水切り作戦

みなさんのコップ1杯分の水切りでごみ処理量が削減されます!

1世帯が1日にコップ1杯分の水切りをするとごみ処理量が年間585トンの削減となり、およそ3000万円の経費削減が見込めます。

津久見市では、これまでもごみの減量化を進めてきましたが、今後さらに推進して行く必要があります。全国的に見ても生ごみの水分が大きな問題となっており、可燃ごみ全体の中で水分が占める割合が30～50%とされています。

津久見市においても可燃ごみ収集量のうち年間1,500トン程度が水分となっており、この水分を取り除くために多額の経費が掛かっています。このため、本年度から「(生ごみ水分)コップ一杯の水切り作戦」と題して、取り組みを進めていきます。

環境保全課では、今後、各種団体や地域に出かけて行き、生ごみの水切りなどごみの減量化・資源化について、みなさんと知恵を出しあいながらこの事業を進めて行きたいと思っています。

《平成19年度と平成20年度のごみ量は次のようになっています。》

平成19年度に比べ、平成20年度のごみ量は、全体で-391トン(-5.4%)となっています。(同比較人口減少率-1.6%)

(単位：トン)

分類	平成19年度	平成20年度	比較
可燃ごみ	5,084	4,835	-249
不燃ごみ	1,153	1,084	-69
資源ごみ	1,031	958	-73
計	7,268	6,877	-391

※平成20年度数値は速報値

このごみを処理するために使ったお金を、市民1人当たり、1世帯当たり置き換えてみますと、次のようになっています。また、ごみ1トンの処理経費も以下のとおりです。(平成19年度実績)

市民1人当たり年間負担額	約20,000円
1世帯当たり年間負担額	約50,000円
ごみ1トン当たり処理経費	約61,000円

※生ごみを新聞紙等で包む前に、十分な水切りをお願いします。



☆ごみの減量化も「地球温暖化防止」の大きな柱のひとつです。

市民のみなさんのご協力をお願いします。

●問い合わせ先/環境保全課 ☎82-9513